風光る丘
平岡中央中学校ホームページアドレス　https://www.hiraokachuo-j.sapporo-c.ed.jp

札幌市立平岡中央中学校
学校だより
特別号
令和8年(2026年) 10月9日

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和８年4月23日（木）、5月7日（木）に、全国学力・学習状況調査が実施され、すでに全国や各教育委員会でのまとめが公表されております。このほど本校においても教科に関する調査（国語・数学・英語）の結果分析と改善の方向のまとめができましたので御報告いたします。

この報告様式につきましては、札幌市教育委員会の指導のもとに作成しており、具体的な数値での公表ではなく、右の表現であることをお知らせいたします。

全国平均と比べ

+3.1 ポイント以上	⇒	◎「上回っている」
全国平均～+3 ポイント	⇒	○ ほぼ同程度であるが、「やや上回る」
全国平均と同じ	⇒	□「ほぼ同程度」
−3 ポイント～全国平均	⇒	▽ ほぼ同程度であるが、「やや下回る」
−3.1 ポイント以下	⇒	▼「下回っている」

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校国語	・知識および技能 ［言葉の特徴や使い方に関する事項］ □全国平均に比べほぼ同程度である。 ［情報の扱い方に関する事項］ ○全国平均に比べほぼ同程度であるが、やや上回る。 ・思考力、判断力、表現力等 ［話すこと・聞くこと］ ◎全国平均に比べ上回っている。 ［書くこと］ ◎全国平均に比べ上回っている。 ［読むこと］ ◎全国平均に比べ上回っている。	・口語文法や適切に漢字を用いる力がやや不足している。 ・資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現の工夫をすること。	・言葉のもつ多様な意味や機能に注意を向け、効果的に使えるようにする活動の充実。 ・ICT 等を活用し、相手に伝わりやすい表現の工夫について互いに助言しあう活動の充実。

【生徒質問紙調査結果の概要（国語に関すること）】

「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は得意ですか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という4つの質問に「あてはまる」と答えた生徒はすべて全国平均を上回っていている。

反面、指示されたこと以外に、自分から主体的に学ぼうとする意欲や、プレゼンテーションなどのように、自分の考えを人前で積極的に述べるなどの言語活動には極端に苦手とする生徒が多い。

今後は、主体的に物事を考え、発信する力を身につけさせたいと考える。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校数学	［数と式］ ◎全国平均に比べ上回っている。 ［図形］ ◎全国平均に比べ上回っている。 ［関数］ ◎全国平均に比べ上回っている。 ［データの活用］ ◎全国平均に比べ上回っている。	・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力については、さらなる向上が期待される。 ・図形の性質を数学的・論理的に捉え、与えられた条件を基に筋道を立てて考察・説明する力に課題が見られる。	・学習内容の意義や活用場面、学びのつながりを意識させるとともに、レポートや自分の考えをまとめたり発表したりする活動を継続して行う。 ・既習事項をもとに、図形の性質について新たな性質を見い出し、その条件を考察したり、説明したりする活動をより充実させていく。

【生徒質問紙調査結果の概要（数学に関すること）】

「数学の勉強は得意ですか」「数学の勉強は好きですか」という質問については、肯定的な回答の割合が全国平均を下回っています。一方で、本校の生徒は授業に真面目に取り組んでおり、基礎的・基本的な知識・技能が定着している生徒が多く見られます。しかし、自分の考えや理解に十分な自信をもてていないことが考えられます。今後は、自分の考えを数学的な言葉で説明し、友達と共有したり、互いの考えを聞き合ったりする活動を充実させ、自分の考えに自信をもち、学習への意欲を高められるよう取り組んでいきます。

	今回の調査における課題	改善の方向
中学校英語	・多くの問題で全国平均に比べ上回っており、課第は一部に限られている。 ・日常的な話題について内容を理解し、自分の考えやその理由を話すこと。 ・社会的な話題について短い説明の要点を捉えること。	・日常的な話題でのコミュニケーションを通して、自分の考えやその理由を簡単に述べる習慣の充実。 ・社会的、日常的な話題について、必要な情報を読み取る活動の充実。

【生徒質問紙調査結果の概要（英語に関すること）】

「英語の勉強は好きですか」という質問に対する肯定的な解答の割合は全校平均を下回っていますが、「英語の勉強が得意ですか」や「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますかの」の質問の解答は、全国平均を上回っていました。今後、普段の授業の中で、生徒が英語の勉強に前向きになり、意欲をもって取り組める工夫を増やしていきたいと思います。

【生徒質問紙調査における生活調査等の結果について】

（※顕著な項目のみ抽出しています）

1 「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）」

◎3時間以上の使用の割合が、全国平均を下回りました。ゲームの時間が除外されている値であり、また個人差が多く出る項目ではありますが、全体としては、御家庭でSNSを上手に活用している傾向が見られます。

2 「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか」

◎週に1～2回以上の割合が、全国平均を上回りました。家庭で子どもの学習に関心をもち、日頃から積極的に関わっていることが分かります。こうした家庭での声かけや会話が、子どもが安心して学習に取り組む環境づくりにつながっていると考えられます。

3 「学校に行くのは楽しいと思いますか」

◎肯定的な割合が、全国平均を上回りました。学習面では個に応じて「わかる」「できる」「楽しい」という体験の積み重ねを引き続き強化していきます。また学校生活や学校行事においては、子ども一人ひとりの声に耳を傾けながら、互いに尊重・認め合う場をつくり、「学校に行く足どりは軽い」という状況をつくることに努めます。

4 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

▼2時間以上の割合が、全国平均を下回りました。

5 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む

◎2時間以上の割合が、全国平均を上回りました。

平日に比べ、休日にまとまった時間を確保して学習に取り組む生徒が多く、学校が休みの日にも学習を継続する意識が高いことがうかがえます。今後は、休日の学習習慣を生かしながら、平日にも無理なく学習時間を確保できるようにすることで、より安定した学習習慣につながることが期待されます。

7 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

◎肯定的な割合が、全国平均を上回りました。

8 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

◎肯定的な割合が、全国平均を上回りました。

今後も子どもの声に耳を傾けながら丁寧に寄り添った指導を行うことで、子どもが認められているという信頼感をもち、安心して学習できる環境を目指して行きます。

9 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

▼肯定的な割合が、全国平均を下回りました。

10 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

▼肯定的な割合が、全国平均を下回りました。

課題を自分で考え、主体的に取り組む力や、学んだことを実生活に生かす力は、受験のための知識だけでなく、将来にわたって、社会の中で自分らしく生きていくためにも大切な力です。本校では数学、理科、保健体育等で TT 授業を行っています。TT 授業を活用しながら、日々の授業の中で、子どもたちが自分で考え、友達と対話し、学んだことを生活や身近な課題と結び付ける場を増やしていきます。